

中央区高齢者孤立防止・生きがい推進懇談会報告書概要（案）

➤ 懇談会の目的

高齢者の孤立化・閉じこもりへの懸念が広がる中、生活状況等の実態について調査・分析を行うとともに、高齢者が社会的に孤立せず、生きがいを持って生活できるよう、地域団体や関係機関などで構成する懇談会を設置し、支援策などについて検討する。

➤ 中央区の高齢者像 <主な特徴>

日常生活の状況に関するアンケート調査の実施

◎調査の目的

中央区内に居住する高齢者の生活状況等の実態について把握し、高齢者が社会的に孤立せず、生きがいを持って生活できるようにするための支援策等に関する検討の基礎資料とする。

◎回収結果

発送数：16,706件 回収数：6,325件 回収率：37.9%

アンケート結果より

- ・「ほとんど毎日外出」が全国より10ポイント高い
- ・近所の方と「親しくつきあっている」が全国より25ポイント低い
- ・人と「毎日話す」が全国より16.1ポイント低い
- ・中央区においては「ひとり暮らし」はどの項目においても孤立のリスクが高い

まとめると…

中央区は、全国平均に比べて、閉じこもりがちな人が少ない。

一方で、近所づきあいや会話の頻度などの人との交流の点では、全国よりも低く、孤立している。特に、ひとり暮らし（特に男性）は会話が週1回以下の割合が高いなど、すべての質問項目において孤立のリスクが高い結果が得られた。



中央区では閉じこもりは少ないが、孤立化傾向が見られる

◎中央区で孤立化の傾向が高い人

アンケート結果から、「男性」、「賃貸住宅に居住」、「ひとり暮らし」、「暮らし向きに余裕がない」、「健康状態がよくない」といった人に孤立化傾向が見られた。

➤ 懇談会での議論を踏まえ導き出された施策の方向性

- 1 身近なところに誰でも参加できる交流の場を（居場所づくり）
- 2 外に出て行けなくなったときにこちらから声をかけるしくみづくり（アウトリーチ）
- 3 若いうちから、近隣との人間関係の和を広げていく（地域デビュー）
- 4 元気な高齢者は、ボランティアなど支える側にまわる（役割・生きがい）

➤ 中央区の「通いの場」について

